

保幼小中一貫教育だより



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第5-2号 R1.10.1

彩都の丘学園 教育委員会先進校視察研修 その2 (令和元年8月26日(月))

《学校紹介—彩都の丘学園》

平成23年4月開校、施設一体型小中一貫校、
総工費24億4千万円、開校時児童生徒数は71人、
現在は1200人を超える大規模校
敷地面積：34300㎡、グラウンド：12665㎡



前回の第5号に引き続き、箕面市では2校目となります施設一体型小中一貫校「彩都の丘学園」視察内容をご紹介します。

(感想抜粋—宮崎委員)

校舎全体が行きとまりのない「ロの字型」で、万が一不審者が侵入しても逃げられる構造、校舎と体育館の間の屋根付きフリースペース(スクールアベニュー)は大変参考になりました。

9年間を見通した教育課程の中で、4-3-2制(前期・中期・後期)を取り入れ、前期ブロック修了式(4年)中期ブロック修了式(7年)卒業式(9年)の成長を自覚できる区切りの行事は必要と感じました。



校舎の向こうに運動場新設



小学校用プール(手前)と
中学校用プール(奥)

(感想抜粋—太田委員)

普通教室と扉を開け放して一体的に使える広い廊下は、オープンスペースとしていろいろな活動に使えると感じました。

小中の先生が協力して、中学校籍の先生は、小学校の先生と図書や一部の学年の理科、社会、体育、音楽を教科担当と一緒に指導され、小学校籍の先生は中学校の部活動を支援しているとの事でした。

業務改善・業務軽減のパイロット校として、職員会議、職員朝礼の廃止、18時30分の退校時間、日課表の見直しなど効率の良い働き方を考えておられました。

(感想抜粋—岸本委員)

体育館は、平均的な体育館の1.5倍あり、災害時の避難所利用を考慮し、国の補助金を活用してエアコンが設置されました。視察時も暑い日でしたが、快適な環境のなかでバスケットの試合をしていました。熱中症を心配せずに体育の授業や部活動ができる環境は素晴らしいです。

児童生徒が急増する中で、新たな取り組み、逆にやめた取り組みなど今までの学校運営にとらわれることなく、スピード感をもって改革にみんなで取り組み動いておられる勢いを強く感じました。

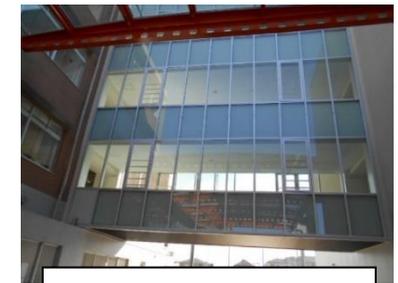
当日は、2学期の始業式のスタートの日であったにもかかわらず、桑野校長先生はじめ先生方、藤迫教育長様や教育委員会事務局の方などたくさんの方々にお世話になりました。誠にありがとうございました。



様々な使い方ができる
小体育館



子どもの使いやすさを考えた
手洗い場



見通しの良い吹き抜け



説明を聞く教育委員の皆様